

機器交換時のバックアップ&リストア(復元)方法

(「データ管理の達人」未利用)

「データ管理の達人」(有償機能)において、マイナンバー法で義務付けられているデータの安全管理措置に対応するため、バックアップ方法も変更となりました。「データ管理の達人」を利用しない場合は、以下の方法でバックアップして下さい。

1. 概要

「データ管理の達人」をご利用でない場合は、各業務ソフトウェアが有しているバックアップ・リストア(復元)を利用してコンピュータ間のデータ移行を行います。このマニュアルは、達人シリーズの個々の業務ソフトウェアを用いたデータ移動方法について説明します。

2. 注意点

以下の条件下では、リストア(復元)が行えません。

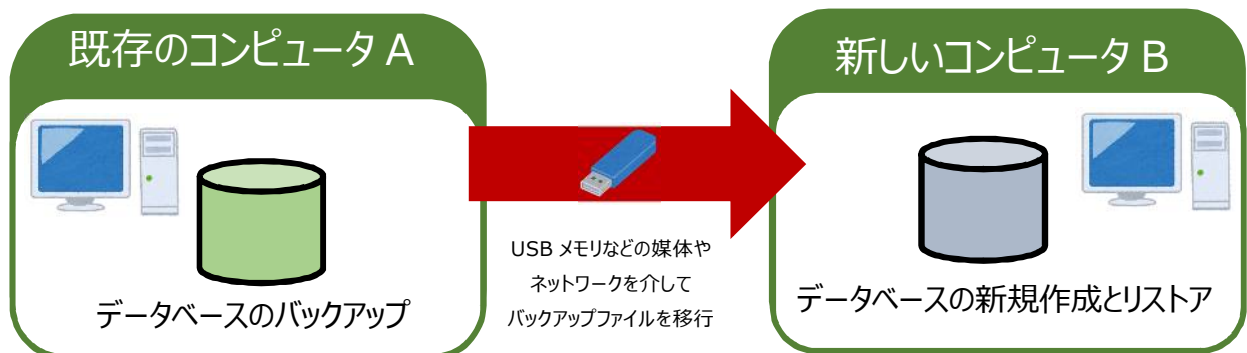
インストールしてある SQL のバージョンが、交換前の機器より交換後の機器が古い。

旧→新：SQL 2005→SQL2008→SQL2008R2→SQL2012→SQL2014→SQL2016

ただし、基本このような状態は特殊事例となりますので、以降で行うリストア時に、何らかのエラーが表示された場合はご相談下さい。

3. 作業の流れ

まず既存のコンピュータ A で作成したデータベースのバックアップファイルを出力します。次に、そのバックアップファイルを新しいコンピュータ B で作成した新規データベースにリストア(復元)するとデータを移行できます。



4. バックアップ方法（交換前の機器で行います）

※ バックアップ処理を実行する前に！！

達人システムの業務プログラムは、全て終了して下さい。（業務使用中はできません。）

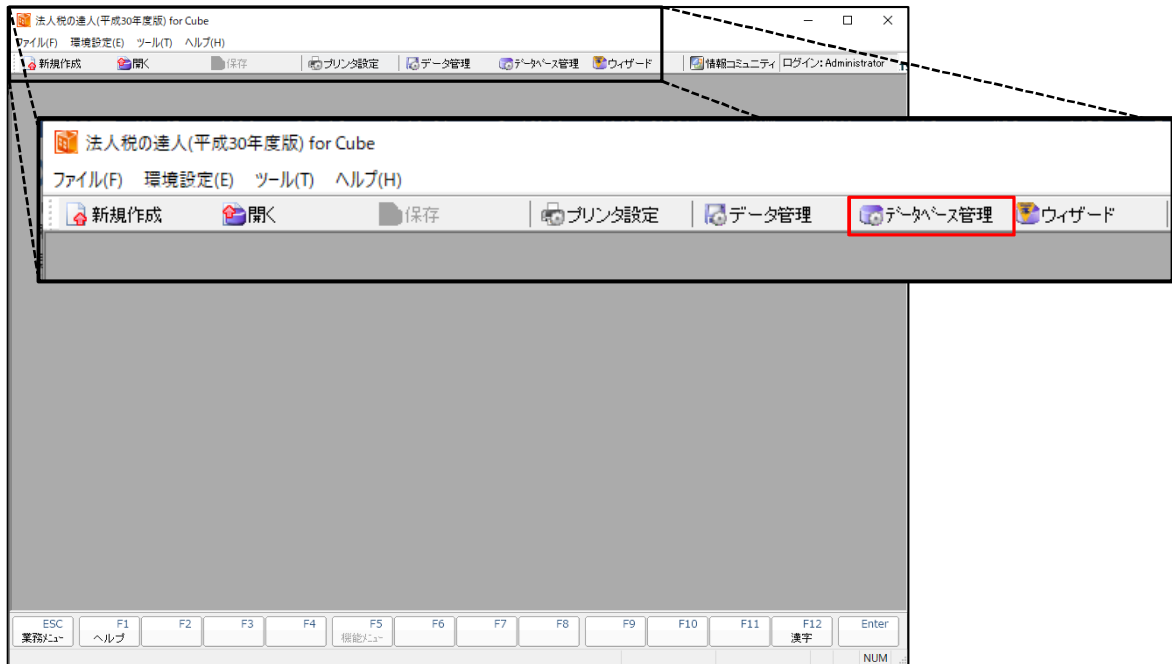
タスクバーにも、業務プログラム名が表示されていないことをご確認ください。

(1) バックアップを行う業務プログラムを起動して下さい。

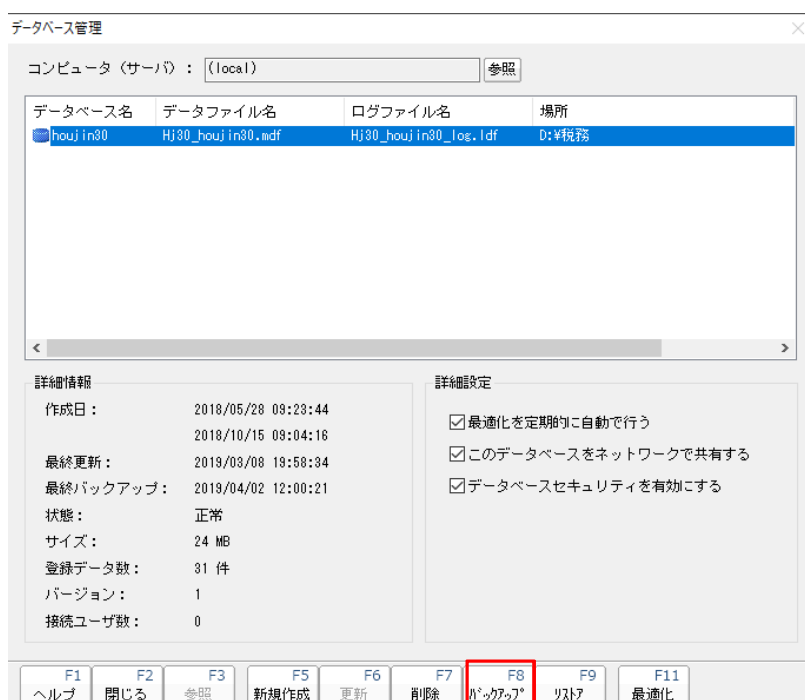
※ここでは法人税の達人(平成 30 年分版)を例にご案内します。

他のプログラムも同様の手順でバックアップして下さい。

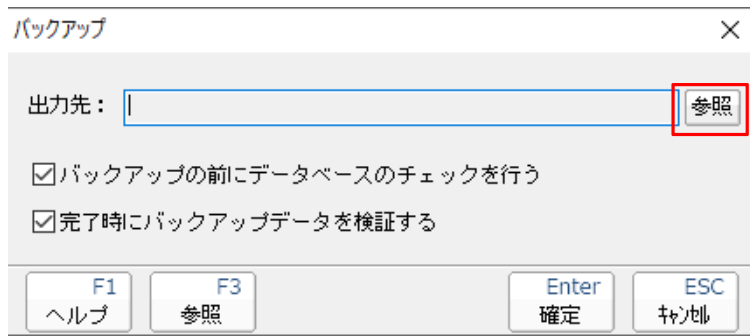
(2) 【データベース管理】をクリックして下さい。データベース管理】をクリックして下さい。



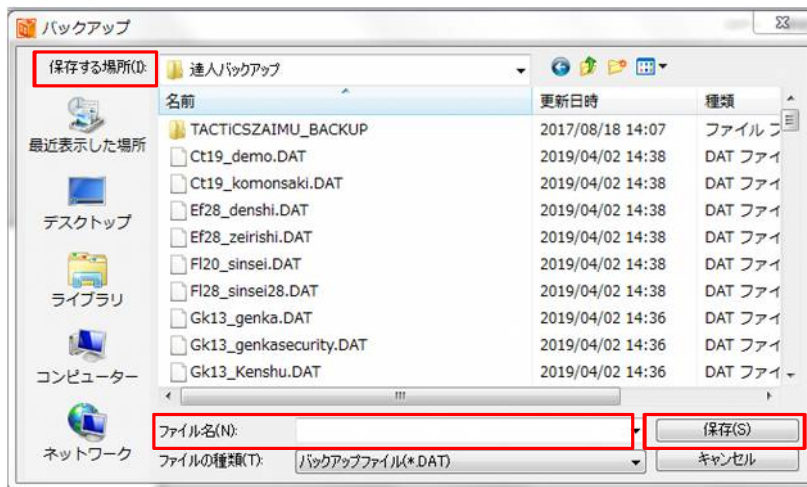
(3) 【F8 バックアップ】をクリックして下さい。



(4) 【参照】をクリックして下さい。



(5) 表示されたウィンドウで、【保存する場所】・【ファイル名】を設定して下さい。



【保存する場所】：バックアップファイルを保存する場所を指定して下さい。

推奨機では、「コンピュータ」⇒「データベース(D:)」⇒「達人バックアップ」フォルダを設定して下さい。

【ファイル名】：バックアップファイルの名称を入力して下さい。

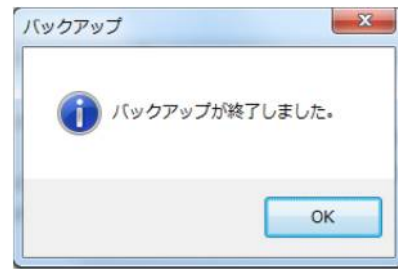
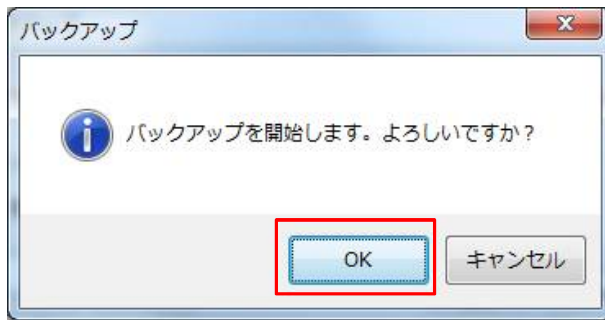
業務名+年度等（例：法人税 30 年度版 = houjin30）でつけると次回使用する際に便利です。

(6) 前項設定を完了後、【保存(S)】をクリックして下さい。

(7) 【確定】をクリックして下さい。



(8) 確認が表示されます。【OK】をクリックして下さい。



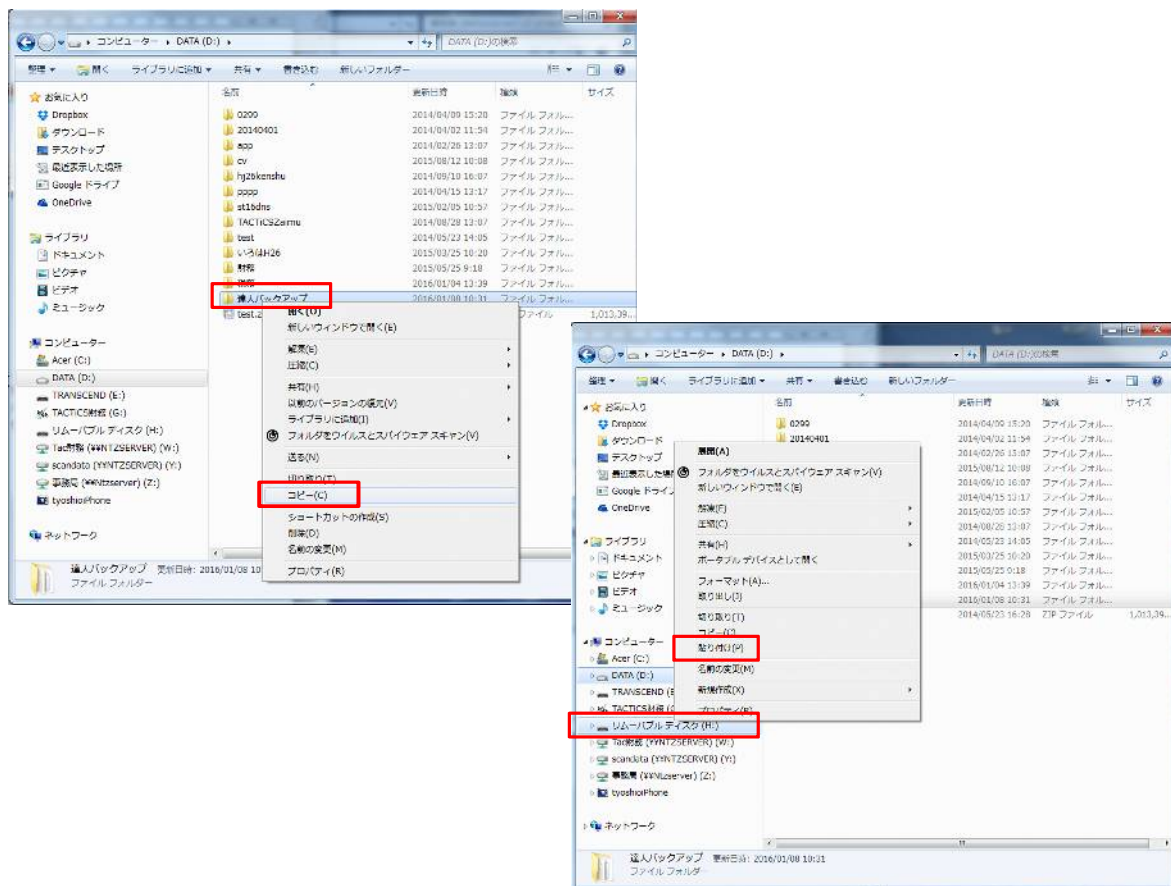
⇒この画面が表示されたらバックアップは、終了です。

⇒バックアップが始まります。

(9) 【OK】をクリックして、業務を終了して下さい。

(10) 保存場所をコンピュータ内部のハードディスクにした場合（推奨機等）は、外部記憶媒体（外付け HDD／USB メモリなど）へコピーして下さい。

（【スタート】⇒【コンピュータ／PC】にて、コピー／貼付け）



5. 新しいコンピュータに [達人 Cube] [SQL server] [業務ソフトウェア] をインストールする方法

(1) 達人 Cube のインストール

- ① Web ブラウザを起動し、検索バーに「達人 Cube ダウンロード」と入力して検索します。
- ② [「達人 Cube ダウンロードサイト」](#)にアクセスし、【達人 Cube ダウンロード】をクリックします。
- ③ インストール時に『達人シリーズ ライセンス証書』に記載されたプロダクトコードを入力して下さい。

(2) SQL server のインストール

- ① 「達人 Cube」にログインし、【アップデート】をクリックします。
- ② アップデートコンテンツの【その他】をクリックし、【更新情報取得】をクリックします。
- ③ 【SQL2014 セットアップ】をクリックして選択し、【アップデート】ボタンをクリックします。
- ④ 画面に表示された設定は変更せずに【次へ】をクリックして画面を進め、【インストール】ボタンをクリックします。
- ⑤ インストールが完了したら、「達人 Cube」の右上にある【×】をクリックしてから【終了】をクリックし「達人 Cube」を終了します。
- ⑥ 再度「達人 Cube」にログインします。
- ⑦ 「達人 Cube」の右側にある SQL Server のサービスが開始されていることを確認します。

(3) 業務ソフトウェア のインストール

- ① 「達人 Cube」の左側にある【アップデート】をクリックします。
- ② アップデートコンテンツの【達人シリーズ】をクリックし、【更新情報取得】をクリックします。
- ③ インストールしたい業務プログラムをクリックして選択し、【アップデート】をクリックします。
- ④ 画面の指示に従いインストールを行います。



6. リストア(復元)方法 (交換後の機器で行います)

※ここでは法人税の達人(平成 30 年分版)を例にご案内します。他のプログラムも同様の手順でリストアして下さい。

(1) リストア行う業務プログラムを起動して下さい。

(2) 【データベース管理】をクリックして下さい。



(3) 【F5 新規作成】をクリックして下さい。



(4) 「データベース名」を入力して、【確定】ボタンをクリックして下さい。

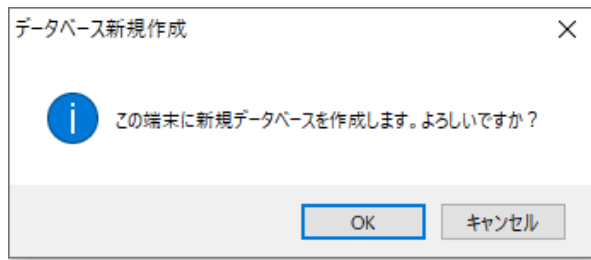
※データベース名は下表の名称を推奨しています。

	プログラム名	データベース名 (推奨)
達人シリーズ	法人税の達人	houjinXX*
	減価償却の達人	genka
	消費税の達人	shouhizeiXX*
	内訳概況書の達人	uchiwake
	所得税の達人	shotokuXX*
	年調・法定調書の達人	nenchouXX*
	相続税の達人	souzokuXX*
	財産評価の達人	zaisanXX*
	事業所税の達人	jigyousho
	申請・届出書の達人	shinseiXX*
	連結納税の達人 (連結処理用)	renketsuXX*
	連結納税の達人 (個社処理用)	renkoXX*
	電子申告の達人	denshi
達人 Cube	顧問先管理	komonsaki
	報酬請求	houshuu
	メッセージボックス管理	msgkanri
	消費税管理	shouhikanri

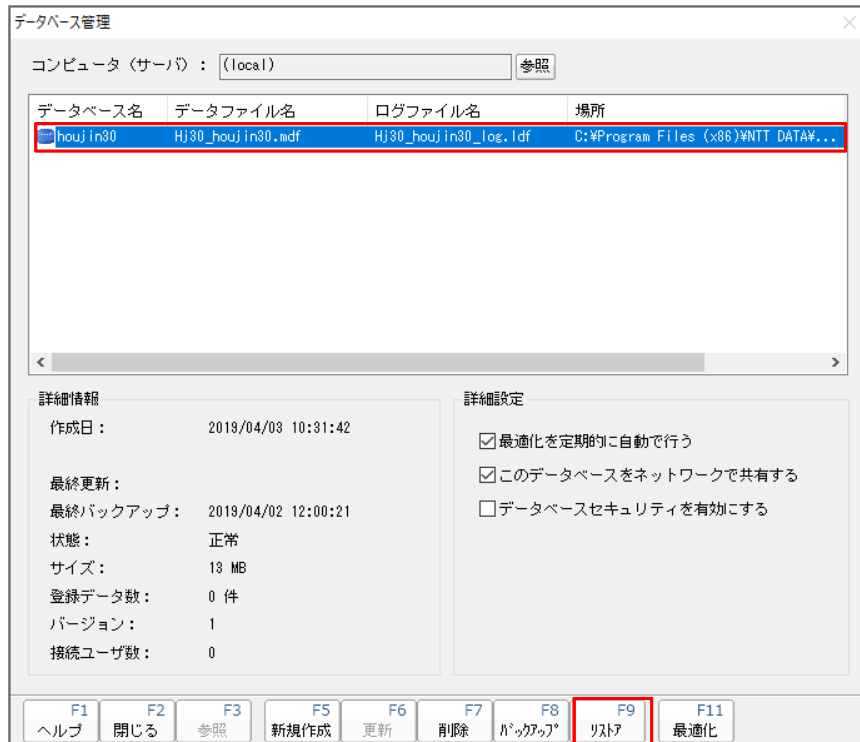
* XX にはプログラムの年度を付けて下さい。

(5) 【OK】ボタンをクリックして下さい。

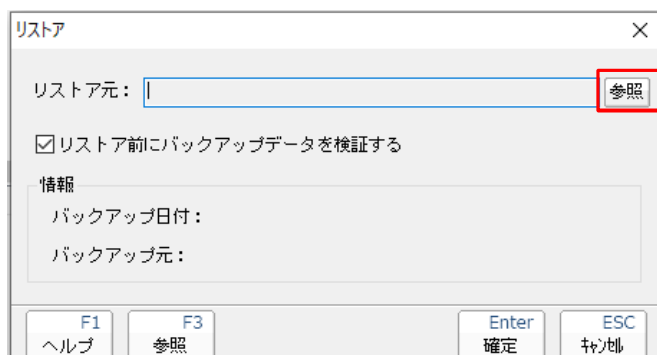
→データベースが作成されます。



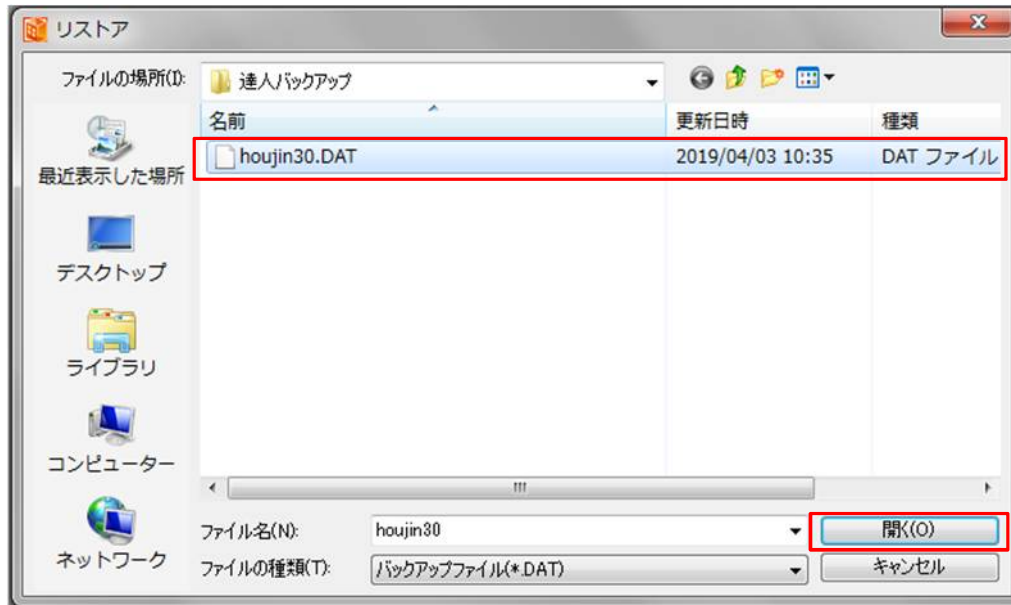
(6) 【F9 リストア】をクリックして下さい。



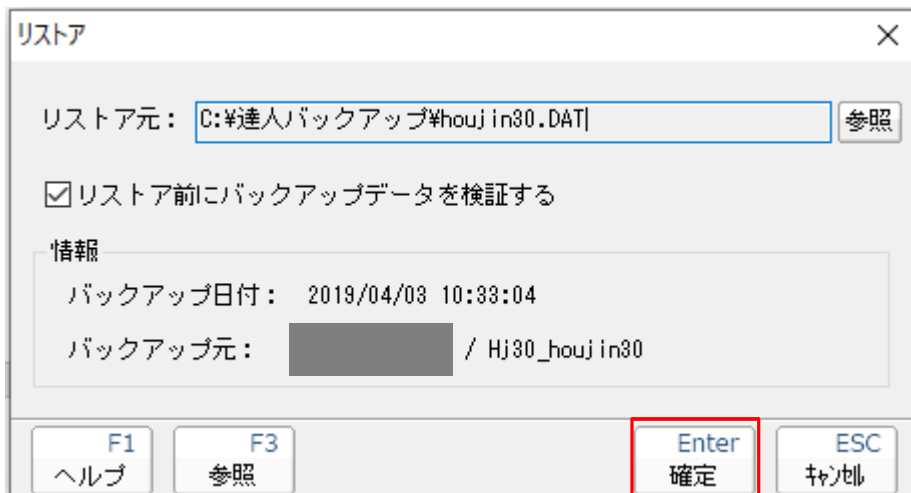
(7) 【参照】をクリックして下さい。



(8) バックアップファイルを選択してから、【開く(O)】ボタンをクリックして下さい。

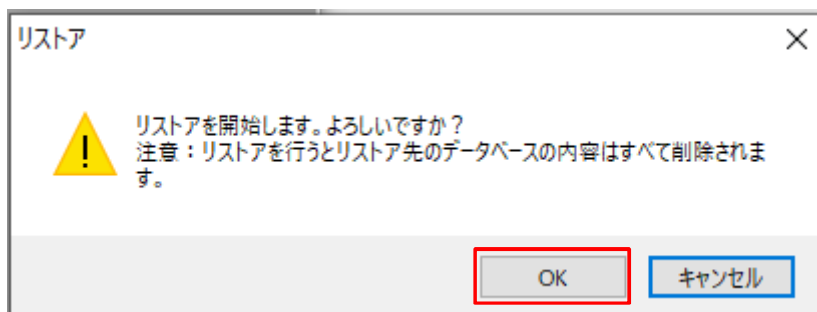


(9) 【参照】をクリックして下さい。



(10) 【OK】ボタンをクリックして下さい。

→リストアが開始されます。



※コンピュータ A のデータをコンピュータ B に移行できました。

確認方法：「法人税の達人」の【開く】をクリックし、データが表示できるか確認します。

また、ほかの「業務ソフトウェア」や、過年度プログラムのバックアップファイルもある場合、このデータベースの新規作成とリストアの操作をプログラムごとに繰り返し行ってください。